

名古屋大学≪工学研究科・教授≫公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院工学研究科 応用物理学専攻 複合系物性工学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） - 量子技術に立脚し新原理に基づく物性物理学・量子物理学の研究開発を推進し、応用物理学分野の発展に貢献できる実験物理工学・実験物理学を専門とする方。 - 当該分野を開拓、牽引する気概に富み、本専攻や本研究科のさらなる発展に貢献できる人物を求めます。また、熱意と責任をもって大学院および学部教育に携わるとともに、協調性をもって大学組織の管理運営に当たれる人物を望みます。 - 工学研究科・応用物理学専攻および工学部・物理工学科（兼務）などの講義、セミナーなどを担当いただきます。 （変更の範囲） - 東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 教授・1名	
		[着任時期] 令和8年4月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	ナノテク・材料、エネルギー、自然科学一般
		小分類	—
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] - 博士学位を有している者 - 応用物理学分野・物性物理学分野に精通している者 - 大学院および学部における教育・研究に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたれる者	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] - 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers.ac/act/110010928.html - 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers.ac/act/110001585.html - 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 - 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） - 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 - 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	

9	応募期間	令和7年8月8日 ～ 令和7年10月31日
10	応募・選考 結果通知 連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] (1) 履歴書（写真貼付） (2) 研究業績リスト（査読付き学術論文・国際会議プロシーディングス、総説・解説、著書、招待講演、特許、受賞などに分類。主要業績5編を○印で示す。） (3) 主要論文別刷（5編以内） (4) これまでの研究の概要（2ページ以内） (5) 今後の研究計画・教育についての抱負（2ページ以内） (6) 外部資金の獲得状況とその他特記事項 (7) 意見を求め得る方2名の氏名と連絡先 (8) 応募者情報ファイル（以下のリンク先から EXCEL ファイルをダウンロードし、ご記入ください。https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/4b4pH9aL3DyDzcz） 提出方法：(1)～(7)の書類を1つのPDFファイルにまとめ、そのPDFファイルと(8)のEXCELファイルを1つの圧縮（ZIP形式）フォルダにしてください。ZIPファイルのファイル名を「Lastname-Givenname.zip」として、下記のリンク先にアップロードして提出して下さい。Lastname と Givenname は応募者の姓と名のローマ字表記です。https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/WDxEtkrFqSspdYa アップロード後、「アップロード済ファイル: Lastname-Givenname.zip」と表示されます。なお、受取の確認メール（受領後1週間以内に発送）を必ずご確認ください。確認メールが届かない場合は、問合せ先に電子メールをお送り下さい。その際、件名を「複合系物性工学講座教員公募（氏名）」として下さい。 問合せ先：名古屋大学大学院 工学研究科 応用物理学専攻 専攻長・齋藤 晃 Email: saitoh@imass.nagoya-u.ac.jp 電話：052-789-3596
11	その他	[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、事前に電子メールで連絡を行う。 ・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。様式は以下のリンク先からダウンロードしてください。https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/center/anzen.html ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んで

		います。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--	---